

部局名	上下水道局	所属名	建設課	所属長名	迫 秀信	電 話	483-6157
-----	-------	-----	-----	------	------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	9835		事務事業名称	污水管渠整備事業						短縮コード	経常	9835	臨時	
予算区分	会計	62	公共下水道事業会計_資本的支出	款	01	資本的支出	項	01	建設改良費	目	01	公共下水道施設拡張費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		下水道法							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
昭和42年度より公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の水質保全を図るため、計画的・効率的に区域内の污水处理施設の改善と衛生的な市街地整備を行っている。また、老朽化した下水道施設の改良工事を実施していく。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして							
公共下水道の整備により、生活環境の改善と快適な生活環境の確保を図る。又、今後は未整備地区の早期解消と老朽化した污水管渠の改良工事などに向けて事務事業を実施していく。					大項目（節）	05	下水道							
					中 項 目	01	下水道							
					小項目（施策）	01	污水排水の整備							
					細 項 目	01	污水施設の整備拡充							
実施計画の計画事業	4501	污水管渠整備事業												
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		平成11年4月 ～ 平成23年3月		計 画 事 業 費		千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	公共下水道計画区域内の生活排水，工場排水。 河川，沼（印旛沼放水路等）。							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 污水管渠築造工事（污水本管及びマンホールの整備）。 污水柵設置工事（公共污水柵の設置）。							
	※平成22年度に計画していること： 污水管渠築造工事（污水本管及びマンホールの整備）。 污水柵設置工事（公共污水柵の設置）。							
意図 （何を狙っているのか）	汚水を衛生的に処理する。 水質の保全。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	公共下水道計画区域内の生活排水	m	304	834	1, 005. 47	371	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	污水管渠整備延長	m	304	834	1, 005. 47	371	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	污水管渠整備延長	m	304	834	1, 005. 47	371	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード		9835	事務事業名称	污水管渠整備事業			所属名	建設課
			単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	10,760	26,145	26,200	10,290	
		県	千円					
		地方債	千円	25,300	92,200	52,390	28,100	
		一般財源	千円	6,637	1,796	2,477	4,635	
		その他	千円	3,823		2,485	2,755	
	主な事業費の内訳			委託料4件6,489千円 工事費6件37,305千円 補償費1件2,726千円	委託料3件1,995千円 工事費7件97,608千円 補償費4件20,538千円	委託料1件210千円 工事費9件72,560千円 補償費2件10,782千円	委託料1件945千円 工事費5件43,890千円 補償費1件945千円	
	人件費(B)			千円	31,280.4	29,550.3	26,309.8	
トータルコスト(A)+(B)			千円		77,800.4	149,691.3	109,861.8	
							72,089.8	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由					
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	汚水施設整備事業は汚水排除の整備として、上位の施策に結びついている。					
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	未整備地区の解消に併せて、市街化調整区域の人口密集地に於いても整備を実施して行く必要がある。					
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	下水道法により、事業の実施は市が行うものと義務づけられている。					
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	現状の「対象」・「意図」で汚水排除の整備に結びついている。					
			☐ 見直す必要がある						
☐ 評価対象外事項									
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある	現段階においては、設計・積算業務に有効に活用されているので現状維持でよい。					
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☒ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等							
		☐ 臨時的任用職員等の活用							
		☐ I T化等の業務プロセスの見直し							
		☐ 受益者負担の見直し							
		☐ 類似事業との統合・役割見直し	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)			
		☐ 上記以外の方法		2		実施主体 (所管部署)			
		⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）	☐ ある						
	☐ ない								

